

コミュニティバスをより一層ご利用ください



厳しい財政状況

市では大切な税金を運行費用として投入しており、効率的で効果的なコミュニティバスの運行が求められています。

低迷する利用者数

現在、市内には23ルートを7台のコミュニティバスが運行しており、いずれのルートも利用者数が低迷しています。



地域の公共交通は地域で守る

今後は、利用の状況により、現在コミュニティバスが運行しているルートであっても、路線の廃止、変更となる可能性があります。ご自身の地域のコミュニティバス路線を守るために、積極的にコミュニティバスをご利用ください。

再編等見直しを検討

市では地域公共交通会議を設置し、コミュニティバスの利用率が特に低いルートについて見直しを図るため、調査、研究を進めています。

たつの警察署からのお願い

～オウム真理教関係特別手配被疑者～

見かけた人は、すぐ110番。



懸賞金

あなたの情報が検挙に結びついた場合には、民間で組織されたオウム真理教特別手配被疑者検挙のための懸賞広告実行委員会から、被疑者一人当たり200万円の懸賞金が支払われます。



平田 信
身長183cm位



高橋 克也
身長173cm位



菊地 直子
身長159cm位

「広報たつの」が「広報まちづくり賞」受賞!

昨年・一昨年の「写真の部」入選に続き3年連続

このたび、「広報たつの9月号」が、(財)兵庫県市町村振興協会「広報まちづくり賞」を受賞しました。

この賞は、県下の市町発行の広報誌の中で、市・町それぞれ1点に贈られるものです。

今回の受賞は、広報たつの9月号で「市民対話事業」と題して、「まちづくりの集い」での市と市民双方の対話を掲載し、市を身近で親しみやすいものと感じられるよう工夫していると評価されたものです。

今後も、市民の皆さんと行政のパイプ役として、読みやすい・親しみやすい広報誌づくりに努めていきます。



「おいしい・元気・たつの」

食を通して、感動体験 たんぽぽ保育園

たんぽぽ保育園では、食育として園庭での野菜の栽培、地域の方の協力のもといちご、ジャガイモ、さつまいもなどの収穫体験、収穫物を使ってのクッキング保育などの活動をしています。これらの活動を通して「おいしい」「たのしい」「うれしい」「すごい」「たいへん」…色々な感動体験をしています。

今年度は、はじめて稲作りに挑戦しました。農園を持たず園庭も狭いので、コンテナや植木鉢での栽培でしたが、なんとか収穫することができました。種まきから苗作り、田植え、稲刈り、脱穀、もみすり、精米と全て手



作業で経験しました。特に、脱穀は牛乳パックで、もみすりはすり鉢とボールで、精米はビンとすりこぎで行ったので、子どもたちには大変根気のいる作業でした。もみだらけになりながら、一生懸命作業する子どもたちの姿は感動的でした。精米仕上がったお米は、普段食べている真っ白なお米とは、まったく違い、正直おいしいと言えるものではありませんでしたが、子どもたちは、一粒一粒を無駄にすまいと炊飯し、大事そうに食べていました。

改めて感動体験が子どもたちの食への興味や関心、意欲を育てるのだと思った活動でした。

農業委員会だより

将来も農地として守るべき農用地区域

県知事が、経済的社会的条件や地形等の自然条件などをふまえて指定した農業振興地域のうち、たつの市農業振興地域整備計画で、将来も農用地等として守るべき土地に設定した区域が農用地区域です。

農用地区域では、農業振興施策が重点的に行なわれるかわりに、農地転用が禁止されています。

◎農用地区域の優遇措置

農用地区域では、ほ場整備事業やかんがい排水事業、ライスセンターや集出荷場の整備事業などを計画的・集中的に実施したり、農地保有合理化事業や、農地・水・環境保全向上対策の対象となったり、また税金が優遇されるなど、さまざまな優遇措置があります。

◎農用地区域からの除外要件

農用地区域は原則として農地転用が禁止されていますが、下記の要件をすべて満たす場合に限り農用地区域から除外することができます。

- 1 農用地区域以外の土地で代わりになる土地がないこと
- 2 農業上の効率的、総合的な利用に支障を及ぼさないこと
- 3 土地改良施設の有する機能に支障を及ぼさないこと
- 4 土地改良事業を実施した区域内である場合は、事業実施後8年を経過していること

また、農用地区域から除外されたからといって、農地転用をしてもよいということではありません。除外された後は速やかに必要な手続きをとり、許可を得たうえで転用してください。

▶農業委員会 (☎64・3185)

